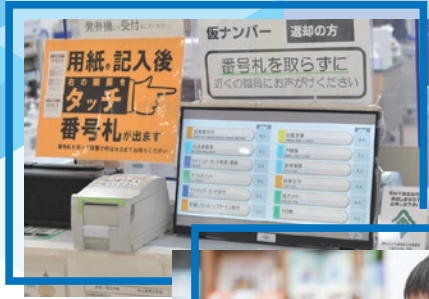


DXで行政サービスをもっと便利に

デジタル政策係では、行政サービスのDXを進めながら、市民の皆さんの暮らしがさらに便利に快適になるようサポートします。今年度、市民窓口課では「窓口DX」を進め、より丁寧な案内や待ち時間の減少などサービスの向上を目指します。また、市立図書館では、電子化された一部の出版物をPCやタブレット端末で読めるようになる「電子図書館」もこの夏からスタートします。

DX (デジタル・トランスフォーメーション)

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。



スマホ教室で「デジタル」を身近に

毎年大好評の「スマホ教室」を今年も開催します。「スマホは買ったけど操作がイマイチわからない」というあなたも大丈夫！スマホ教室ではスマートフォンの電源の入れ方から、画面操作など基礎から学べます。本市では、皆さんがデジタル機器に慣れ、便利さを実感できるように支援します。



皆さんは、市職員にどんなイメージを持っていますか？「堅苦しい」「とっつきにくい」「融通が利かない」など、あまり良くないイメージを持っている方もいるのではないのでしょうか。しかし本当は…

「市民の皆さんに、市職員の人柄を知ってもらい、身近に感じてもらいたい」。これが市民と行政が協力してまちづくりを行う「市民協働のまち」の第一歩になると考え、市職員の紹介コーナー「Mirai Worker^{みらいワーカー}」を作りました。

このコーナーでは、仕事での真面目な顔からは想像できない、市職員のほっこりするような一面を紹介します！

行政経営デジタル戦略課
係長

いしつか たかゆき
石塚 隆幸 (2009年度入庁)



「ちょっと前までガラケーを使っていたアナログ人間の僕が？」照れながら語る石塚さん。4月の異動が決まった時は戸惑ったものの、今は専門用語にも慣れてきた。

趣味はDIYで、狙った隙間にピッタリ収まった自作家具を眺めるのが至福の時。料理にもハマっていて、妻が苦笑いするほどの餃子の山を築くことも。最近は、パソコンやAIを使ってレシピを取得しているそう。

子どもからのお手紙など、アナログならではの良さも大切にしながら、便利さ快適さを実感し、少しずつデジタルに染まり始めている石塚さんでした。

まちづくり